

中東情勢に伴う重要物資の安定的な供給確保のためのタスクフォース（第二回）の開催  
（結果概要）

4月9日、経済産業省において、赤澤中東情勢に伴う重要物資安定確保担当大臣、山田副大臣、越智政務官出席の下、阪田内閣官房副長官補（内政）を議長、河邊内閣官房副長官補（外政）を副議長とし、関係省庁局長級から構成される「中東情勢に伴う重要物資の安定的な供給確保のためのタスクフォース」の第二回会合が開催されました。

- 1 会合においては、中東情勢の影響を受ける重要物資の供給状況について各省から報告を受け、その中で、重要物資の安定供給対策として、
  - ・石油流通円滑化のための「直販制度」の創設や
  - ・9日朝に開催した「中東情勢の影響を受ける医薬品・医療機器・医療物資等の確保対策本部」における医療分野のサプライチェーンの実態把握等について、議論を行いました。
- 2 その上で、会合の締め括りとして、赤澤大臣から、最優先である国民の皆様の命、そして暮らしを守りぬくため、
  - ・厚生労働省においては、強化した省内体制のもと、これまでの定点観測に加え、設置した情報提供窓口や、約1.3万の病院等からオンラインで随時報告可能なシステムの運用を通じて、製造側から医療現場に至るまで、迅速に課題の把握と供給状況のモニタリングを行うこと、
  - ・関係省庁の緊密な連携のもと、医療関連物資や公共インフラ・サービスにかかわる物資を始めとする重要物資について、海外を含めたサプライチェーンの実態を把握の上、製造拡大を含め、あらゆる対応策を速やかに講じること、について指示がありました。